

ふたりのコラム

April 30, 2021

認定こども園あかみ幼稚園 園長 中田幸子
認定こども園メイプルキッズ 施設長 新井利枝

《3・4・5歳児》

ご入園・ご進級、おめでとうございます！

今年度も職員一同保護者の皆様と連携を図りながら、子どもたちのより良い成長のために努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、4月がスタートして、早1か月が経とうとしています。

緊張がほぐれて、元気に園庭を走り回る様子が見られています。一方、初め泣いていなかった子どもが、今になって泣いたりすることもあります。これは、周りの様子が少しずつ見えてきた成長の姿の一つでもあります。初めての園生活、または新しい学年になり、心配される保護者の方もいらっしゃると思います。保護者の方の不安は、お子さんに影響します。まずは、保護者の方が安心してお子さんを送り出せることがよいのです。何かご心配がありましたら、職員までお問い合わせくださいね。



今年度も1年間、先生や友達と一緒に生活する中で、ワクワクしたりドキドキしたり、思い切り体を動かしたり、考えたりしながら、大きく成長してほしいと願っています。

ヤギの赤ちゃんが生まれたよ！！

入園・進級式でヤギさんたちがキャベツやニンジンなどを待っているよ！と話したことを受けて、たくさんのおともたちが翌日野菜を持ってきてくれて、ヤギたちは大喜び！！恐る恐る近づき野菜をあげようとするものの、ヤギが近づいてくると、怖くて、投げてしまう様子も見られていました。中には、自分の手から野菜をあげられる子もいました。また、ドキドキしながら、ヤギの口を見て「もぐもぐしているね」なんて言う発見をし、それを言葉で表現している子もいました。



さて、それから数日後…。なんとヤギの赤ちゃんが生まれました。

生まれて間もなくは、目も見えず、お母さんのおっぱいを見つけていました。今では、元気に飛び回っています。生命の尊さ、強さを感じられる一場面でした。

大人も子どもも楽しい園生活を！！

先日は、保護者会の係決めにご協力いただきありがとうございました。当園では、保護者の皆様と園とが協力し合い、子どもたちにより良いことは何か…ということを常に考えています。保護者会活動を通して、子どもたちのために活動する楽しさを感じていただくことはもちろん、他の保護者の方々とのつながりの中で、子育ての楽しさを感じあえるようなことも願っています。

また、園生活の手引きにもあります通り、『泥工房（でくのぼう）』でのやきもの作りや土と触れ合う『ファーム』の活動、子育て拠点事業『re.』など、希望される方が参加できる活動があります。今年度は、昨年度よりも活動が少し増やせそうです。

このように、あかみ幼稚園では、子どもはもちろん、大人の方々も楽しく生活していただけることを願っています。子ども・保護者・地域の方々、園という場所を通してかわりを持ち、繋がっていけたら素敵ですね。時節柄、大人数の集まりが難しい状況にはありますが、可能なことを考え、大人の方々にも、楽しい時間を過ごしていただきたいと思っています。

子どもたちに願うことって何だろう？

皆さんは、子どもたちにどのようなことを願いますか。

〇〇〇〇・・・・・・・・

それぞれの考え方があると思いますので、100人いれば100通りでしょう。

しかし、我が子に幸せになってほしいということは、だれもが願う共通なことでしょうね。

その「幸せ」とは何でしょうか。幸せの価値観はいろいろかと思いますが…。

他人から見て幸せそうでも、本人がそう思わなくては、幸せではないですね。

また反対に、他人から、幸せ薄そう…と思われるでも、本人が幸せを感じて生きていたら幸せです。つまり、他者評価ではなくて、自分で感じるものなのですね。

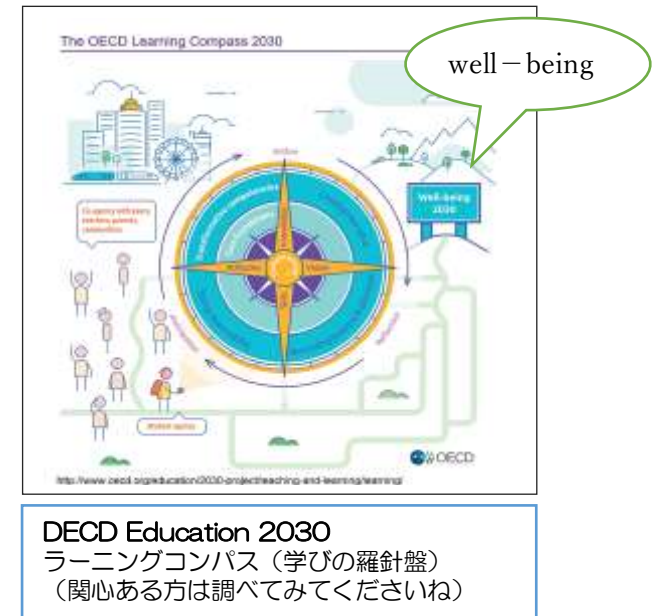
子どもたちに、自分の幸せを感じられる人になってほしいと願います。

たくさん体を動かして、体の健康をはぐくみ、たくさん遊んで、考える力をはぐくみ、そして、心揺さぶられる体験を通して、感動したりする情操をはぐくみ、自分自身を認め、人も認められるような、豊かな人になってほしいということです。

心身ともに良好な状態（Well-being）になることで、幸せに生きていくことができると思います。

人間の基礎が培われる幼児期に、たくさん遊び、体験をすることが重要なことなのですね。

（文責：中田）



《0・1・2 歳児》

あらためまして・・・入園・進級おめでとうございます。

メイプルキッズ施設長の新井利枝です。新卒であかみ幼稚園の保育者として働きだしてウン十年、結婚、出産を経て、周りにバックアップをしてもらい、子育てと仕事を両立させながら今に至っています。子どもたちも、もう大学生と高校生、子育てもひと段落といったところですが・・・、今思い返すと、子どもが大きくなるのはあっという間だったように思います。最近では、家族でキャンプや海へ遊びに行っていた頃を懐かしく感じて、「また家族でキャンプしたいな」（コロナの関係で厳しいですが・・・）と家をつぶやいたところ、子どもたちからは「遠慮しとく」と即答されてしまいました（泣）。

こんな私ではありますが、このコラムでは、園での子どもたちの様子や発達に関すること、子育て奮闘記等・・・を発信していきたいと思っています。そして、保護者の方々と、子どもたちの成長をともに喜びあっていければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

さて、入園・進級から早一か月が経とうとしています。新しい環境に不安だった子たちも、最近では笑顔で遊ぶ姿が見られるようになってきました。あかみ幼稚園・メイプルキッズでは、私たち保育者はもちろん、保育に携わる職員以外にも様々な職員が働いています。事務職員、バス運転手、搭乗員、養護教諭、看護師、マザーグースやre.、預かり保育等子育て支援にかかわる職員、保育の中での作業的な部分を担う保育補助員、園内の環境整備にあたる職員、給食の調理員、栄養士、学童みちくさの指導員、他にも資格を有するスクールカウンセラー等、様々な職員が子どもたちを取り巻く環境の中で仕事をしています。



つい先日も・・・

メイプルキッズと3歳児クラスの砂場にあるブドウ棚が、最近の暑さで日差しが厳しく感じるようになってきていました。そろそろ日陰を確保しなければと保育者同士で話をし、環境担当の職員に相談していました。すると、その後早速、環境整備を担う職員が、砂場のブドウ棚によしずを取り付けてくれました。子どもたちから「何してるの」と聞かれ、「みんなが暑くならないように、屋根を付けてくれてるんだよ」と答えると、「ありがとー」と声をかけ、作業している様子を興味津々に見ている子もいました。

子どもたちが、安全にそして安心して過ごせるよう、園内で働く職員がそれぞれの仕事を全うしています。今後も保護者の方が安心してお子さんを預けられるよう、人的環境、物的環境を整えていきたいと思ひます。

メイプルキッズでは、目に見えない心の育ち、愛着形成を大切に、ゆるやかな担当保育を行っています。乳幼児期は人として生きていくための基礎が育つ時期でもあります。ご家庭での愛着関係が成立する過程を援助すると共に、園での保育では、保育者が一人ひとりの子どもの「心の拠り所、安全基地」となれるよう配慮し、「ていねいな保育」を心掛けています。

「ていねいな保育」って？

「ていねいな保育」の基本として、まず私たち保育者の関わりが重要になります。私たちが保育をするうえで心掛けているポイントをいくつかをお知らせします。



・子どもの気持ちを尊重する 子どもたちの「～したい」という気持ちを大切に応答的な関わりを意識しています。

・子どもをよく見て、「何がしたいのかな」と考える 一人ひとりの行動を読みとっていく。大人にとっては困った行動も、子どもにとっては、興味関心でいっぱいのもこと・・・。

・保育者の表情！！ 笑顔はもちろん、子どもが不安な時も、ニコッと笑いかけ、大丈夫！先生がいるよと安心へつなげる・・・。

・見守って、待つ！ 待つ保育を意識しています。子どもが何かをしようとしている時、集中している時は、必要以上に声をかけたりせず、見守ります。ここぞという時に、そっと手助けをしたり、一緒にチャレンジしたり、励ましたり・・・ただ見ているだけではありません。



・一人ひとりの興味に沿って 興味のないことを無理にさせても、子どもの発達が限定的なことがわかってきているようです。

これなんだろう？ 面白そう！ やってみたい！という、興味関心こそが、これからの学習への意欲の第一歩です。子どもの「やりたい」を大切にしています。

・子どもの気持ちに共感！ できたよ！見て！などなど、子どもたちができたこと、気づきに、「できたね」「すごい！」と共感します。

・否定的な言葉や指示語は×！ 怒られるからやらないのではなく、子ども自身が考えて行動できるようになってほしい。「だめだよ」よりも伝わりやすい、関わりを考えます。指示や否定よりも、肯定的な言い方で伝えるようにしています。

・手をかけすぎない援助 危ないから、できないからと大人が手を貸してしまいがちですが、子どものチャレンジ精神を大切に必要援助を心掛けています。

まだまだ沢山ありますが、私たち保育者は保育のプロとして、子どもたちと向き合い、保育の質、保育者の質の向上に向けて日々奮闘していきます。

(文責：新井)